

テーマ「初めての選挙を通して」

北筑高等学校 草野 さつき

昨年公職選挙法が改正され、選挙年齢が二十歳以上から十八歳以上に引き下げられました。そして今年夏にあった参議院選挙で、私は初めて選挙に行きました。

私は最初、選挙権が引き下げられた、というニュースを耳にしても、正直政治にあまり興味が無かったため、選挙に対しても消極的な姿勢でした。

しかし、政治や選挙について関心を持つようになった出来事がありました。それは八幡東区中央町で行われた、地元国会議員による「若者まちかどミーティング」という企画です。私は学校の文化祭で、世界の選挙方法について調べるといふ展示発表に取り組んでいたのので、何か参考になればと思い、このミーティングに参加しました。

その場には、思っていた以上にたくさんの地元の高校生や大学生が参加しており、驚きました。いざ始まると、国会議員の方々は、給料、普段の生活、休日の過ごし方などの日常の事から、地域の活性化や若者の雇用問題などの政治的な事について、さまざまな高校生や大学生の質問に丁寧に答えてくださいました。今まで自分には関係ないと思いがちになっていた政治が身近なものに感じられ、貴重な時間を過ごすことができました。私はこのミーティングを通して、選挙に行くという行動自体に大きな意味があると思いました。

それからネットや新聞、パンフレットなどにある候補者の政党の政策を見て、母と一緒に期日前投票に行きました。会場に行くとき制服で行ったこともあり、スタッフの人に、「十八歳？えらいね。」と笑顔で言われ、選挙に行くだけで褒められるのだと不思議に思いながらも、うれしくなりました。投票用紙に候補者の名前を書くときは本当にドキドキして書いている手が震えそうになりました。全て終わった後には、自分も政治に関わったんだと、少し大人に近づいたような気持ちになりました。

そして、選挙に行った後から、政治への感心が高まりました。新聞やニュースを意識的に見るようになり、選挙に行ってよかったと心から思います。

十八歳以上に選挙権が引き下げられたということは、次の世代を担う若者たちが次の国の政治について関心を持ち、もっと勉強しなければなりません。自分の一票はほんの少しの力しか持っていませんが、政治に興味を持つ若者が増え、投票をすることで、今の日本の政治に大きな影響を与えることができます。そしてその若者たちの力によって、少しずつでも日本の政治にいい変化をもたらすことができることを願います。